

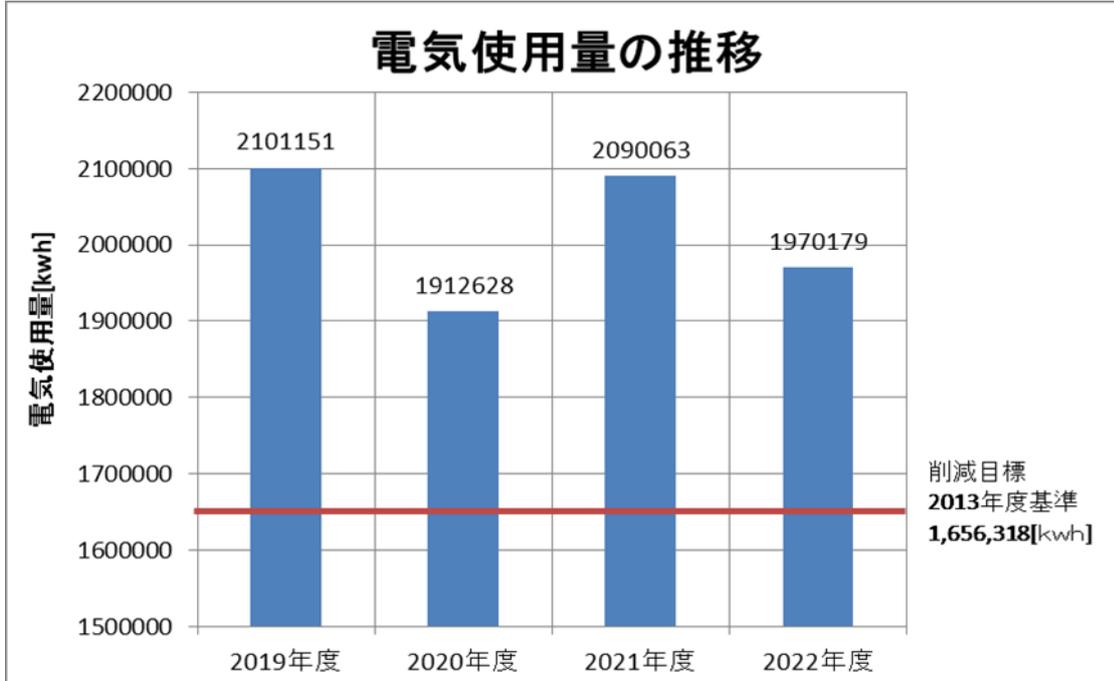
# 2022年度 環境報告書

## ・エネルギー使用量の推移について

### 1, 電気使用量について

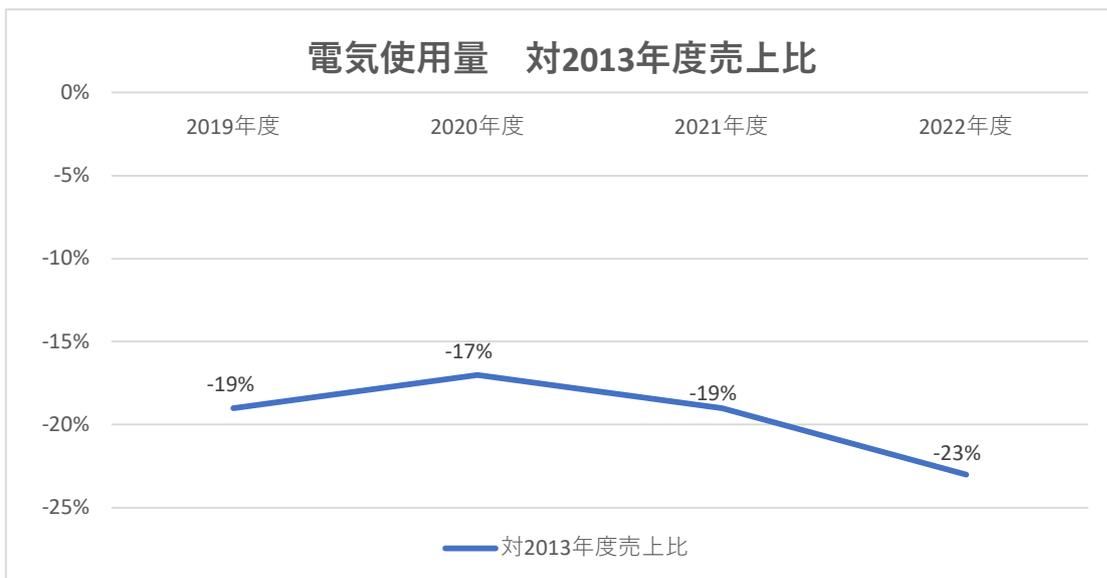
日本の温室効果ガス削減目標は2013年度を基準として2030年度に46%削減としています。

下記は過去3年間の電気使用量と2022年度の電気使用量を表しています。  
赤線は、2013年度の電気使用量を表しています。



	2013年度 (基準)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
電気使用量[kwh]	1,656,318	2,101,151	1,912,628	2,090,063	1,970,179

下記は、2013年度を基準として、売上当りの電気使用量を比較したグラフです。



	2013年度 (基準)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
対2013年度売上比	基準	-19%	-17%	-19%	-23%

弊社で使用する電気の大部分がプレス機械をはじめとした生産設備での使用であるため、売上対比で削減効果を検証しています。2013年度に比べ、電気の総使用量は設備の増加や新規工場の稼働等が有り増加傾向ですが、売り上げとの比較では2022年度は2013年度の売り上げに対して23%程度の削減ができました。

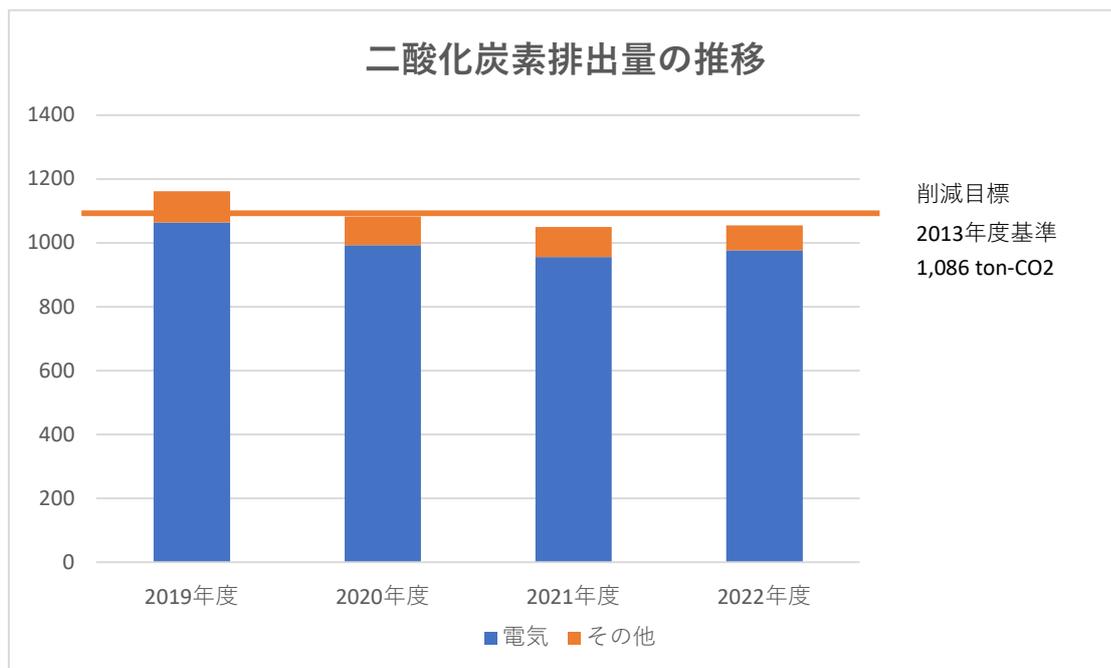
## 2. その他のエネルギーについて

下表は、ガス・ガソリン・軽油・灯油の使用量を表記したものです。前年の売り上げに対して比較してみますと下表の一番右の列のような結果となりました。ガスについては若干の減少、ガソリン、軽油については若干の増加となり、灯油については前年の対売上比較で23%の削減となりました。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年度 対売上 比較
ガス使用量(m <sup>3</sup> )	452	600	781	754	-2%
ガソリン使用量(L)	4629	2951	3425	3474	+3%
軽油使用量(L)	7580	5743	5897	6347	+9%
灯油使用量	25400	25231	26215	19969	-23%

### ・二酸化炭素排出量の推移について

下表に、弊社の二酸化炭素排出量を表したものを記します。



	二酸化炭素排出量 [ton-CO <sub>2</sub> ]				
	2013年度 (基準)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
電気	976	1064	993	955	977
その他	110	98	89	94	79
合計	1086	1162	1082	1049	1056

※その他は、ガス、ガソリン、軽油、灯油

下記は、弊社が使用しているエネルギー全体の二酸化炭素排出量について、売上額当たりの排出量に換算し、2013年度を基準として比較したものです。2013年度に比べ、新規事業・設備の増加がありましたが2022年度は37%の削減となりました。

## 二酸化炭素排出量 対2013年度売上比



	2013年度 (基準) 基準	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
対2013年度売上比	基準	-28%	-29%	-38%	-37%

弊社の二酸化炭素排出は電気の使用によるものが主であり、対売上で削減されていた為、このような結果となりました。

今後もエネルギーを効率よく使用し、省エネルギー機器の導入推進や削減に努めてまいります。

### ・その他の環境管理対象について

水道使用量については削減結果が得られましたが、産業廃棄物の削減に関しては、十分な成果が得られませんでした。要因として、2022年度には工場のレイアウト変更に伴う廃棄物の増加が有ります。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年度 比較
水道使用量(m <sup>3</sup> )	6408	5747	6627	5746	-12%
産業廃棄物発生量(t)	55.76	59.51	60.13	64.43	+7%

### ・法令順守について

フロン排出抑制法が平成27年に施行され圧縮機7.5kw以上のエアコンに対して有資格者による点検が義務付けられました。弊社では対象となるエアコンを19台(すべて7.5kw)使用しており、3年毎の定期点検については、外部委託で実施しております。

### ・環境美化活動について

弊社では環境意識の向上を目指して、毎年、定期的に田尻工業団地のゴミ拾いを行っております。

